

常なる磐

つねなる いわ

令和3年2月26日(金)

その2

◇【環境整備】は続く②

120年記念式典が終わっても、本校の環境整備は続いている。

グラウンド整備や樹木管理と並行し、施設再塗装の整備も進行中である。

本題に入る前に余談を。

2月下旬ともなると、学校は、最重要行事の【卒業証書授与式（卒業式）】に向けての準備も本格的に開始する。式で保護者や来賓に配付する「しおり」もその一つである。

本校の「しおり」は実に豪華で、過去のしおりを見た時は、その豪華さにびっくりした。写真入りのカラー印刷である。

そして、しおりに目を通し、しおりの写真を見て、またびっくり。



背景の明らかに異なる壁色とタイル。こうした記録を見ると、やってよかったと思える。人間の記憶というのは実にいい加減なもので、再塗装後には、以前がどんな状態だったのか思い出せないのだ。記録写真の重要性を再確認。

そして、未修箇所も発見した。ジャングルジムの後方の低い壁面である。

これは、比較対象としてもってこいだ。しばらくこのままにしておこう。

さて、本題に移る。

現在、山田校務員が、新たな箇所の壁面を塗装してくれている。車両通用口から坂を登り切った正面に見える学級花壇の壁面だ。花壇だけに降雨などによる土砂の流出が多く、壁面の傷みが激しい箇所である。当初は白ペンキで塗装されていたが、右写真のように塗装自体の剥離も激しい。

白を塗り重ねることも考えたが、土砂による汚れも考慮し、チョコレート色のペンキで再塗装してもらっている。



通用口から見ると、こんな感じになる。いよいよ外国の学校っぽくなってきた。



校舎の土台が濃い茶色で引き締まり、落ち着いた感じに見えるのがいい。山田校務員の塗装も上手い。どんどん腕をあげている。加藤先生、野中教員補助者、自分を加えた4人で、今後も継続進行の環境整備なのである。